

平成24年3月期 第3四半期決算説明資料

2012年2月



- ◆ 当第3四半期は、前年同期間比増収、増益
- ◆ 経常収益、四半期純利益ともに計画通り進捗
 - ・ 総利用件数は前年同期間比 +6.5%
 - 預貯金金融機関取引…同 +8.9%
 - ノンバンク取引……………同△13.3%
- ・ ATM台数は前年同期末比 +1,106台

損益状況(抜粋)

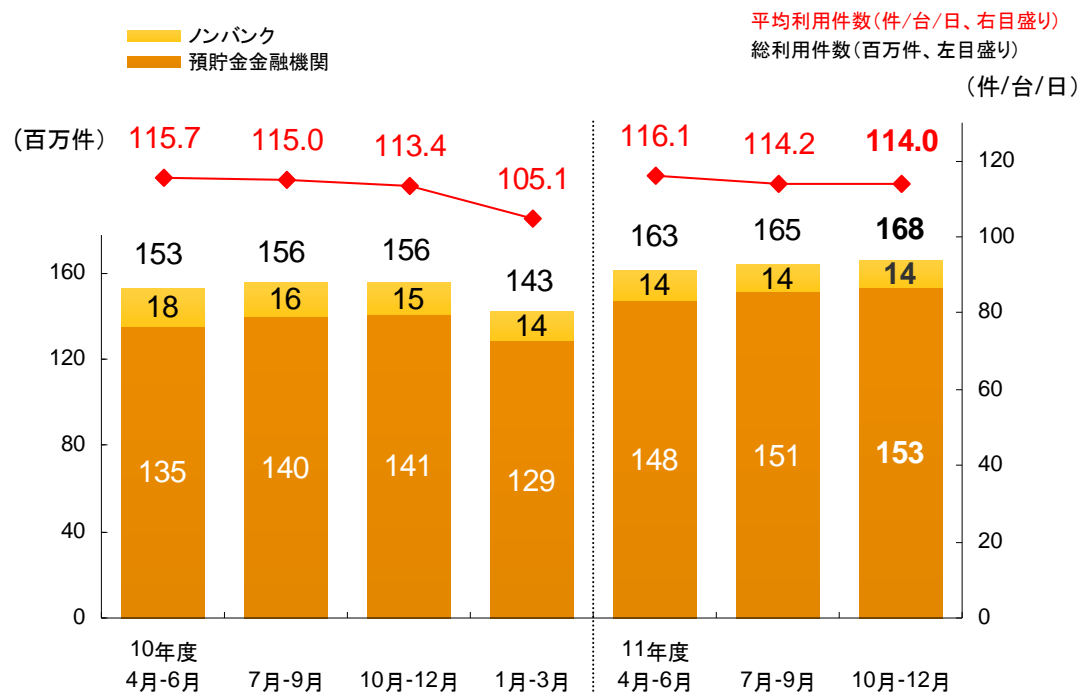


(単位: 億円)

	2010年度 第3四半期	2011年度 第3四半期		2011年度 通期計画
			前年差異	
経常収益	644	668	24	881
うちATM受入手数料	618	636	18	839
経常費用	423	431	8	600
うち営業経費	331	335	4	469
経常利益	220	237	17	280
特別損益	△0	△1	△1	△0
法人税等合計	89	96	7	113
四半期純利益	130	138	8	165
期末ATM設置台数(台)	15,104	16,210	1,106	約16,400
平均利用件数(件/台/日)	114.7	114.8	0.1	112.4
総利用件数(百万件)	466	497	31	655

注 計数は全て単位未満(平均利用件数は小数点第1位未満)切捨て
前年差異は億円単位(総利用件数は百万件単位)で比較

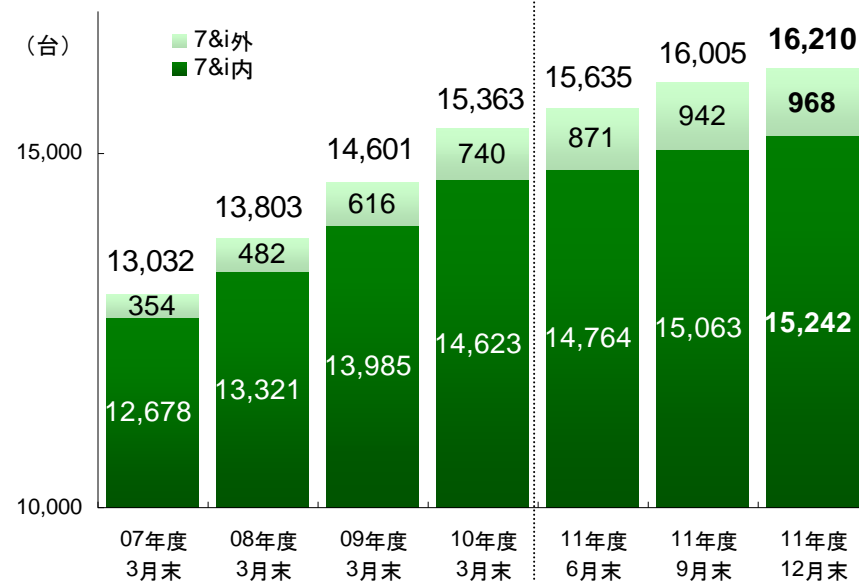
利用件数の推移



注1. 平均利用件数、総利用件数は残高照会、電子マネーチャージ、暗証番号変更、利用限度額変更を除く
 注2. 総利用件数は単位未満切捨て、平均利用件数は小数点第2位以下切捨て

- ・設置台数の増加と預貯金融機関取引の着実な伸びにより総利用件数は増加
- ・ノンバンク取引の前年比減少幅は着実に縮小

ATM台数の推移

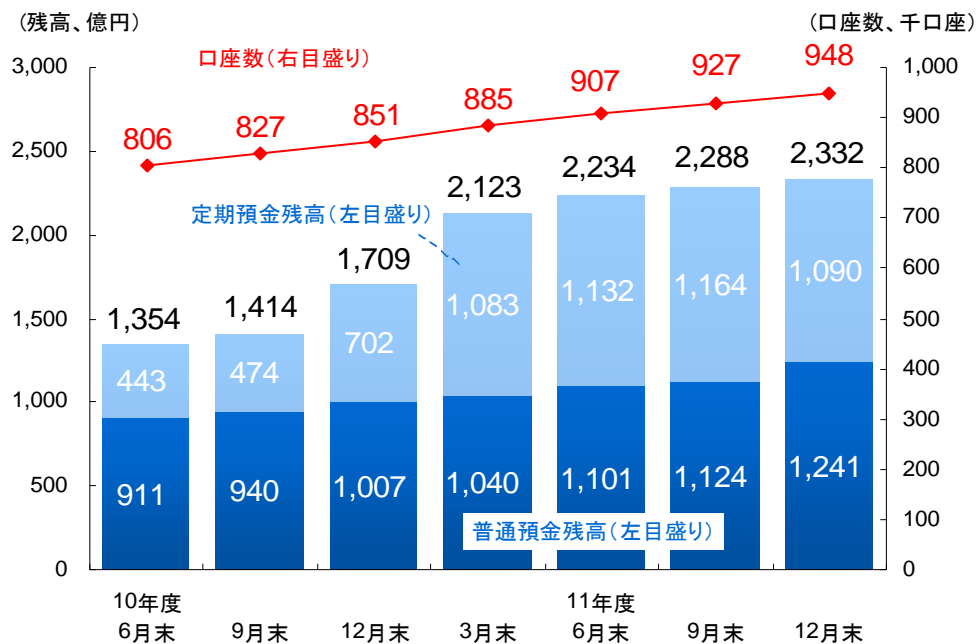


- ・セブン-イレブンの新規出店を中心に、グループ内店舗への設置は順調に増加
- ・グループ外は、商業施設等に加え、大和証券全本支店へATMを設置

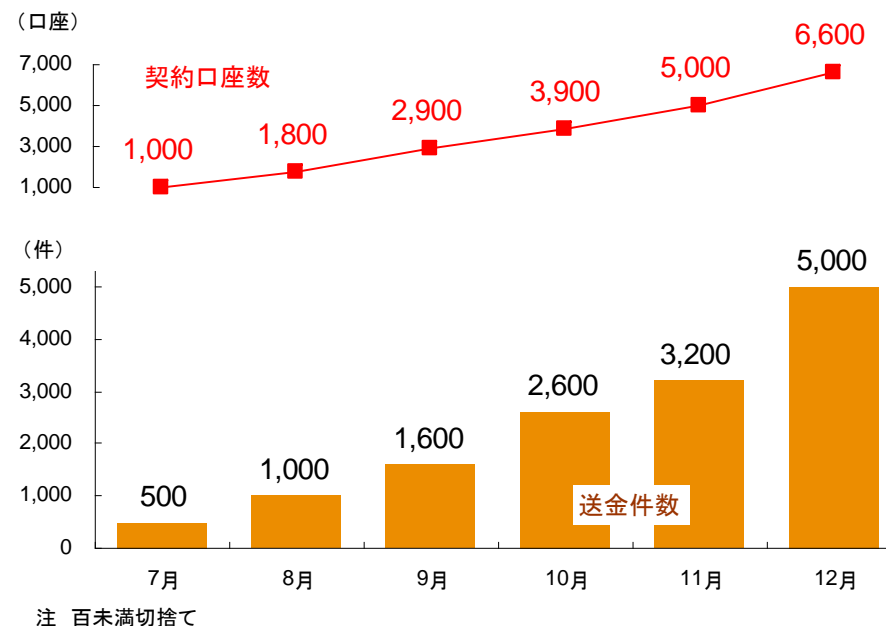
口座関連の状況



セブン銀行預金(個人)の状況



海外送金サービスの状況(2011年3月開始)



個人向けローンサービスの状況(2010年1月開始)

	2011年12月末実績
ローン契約口座数	14.9千口座
ローン残高	1,458百万円

2011年3月 インターネット・モバイルバンキングでサービス開始

2011年7月 ATMでのサービスを開始

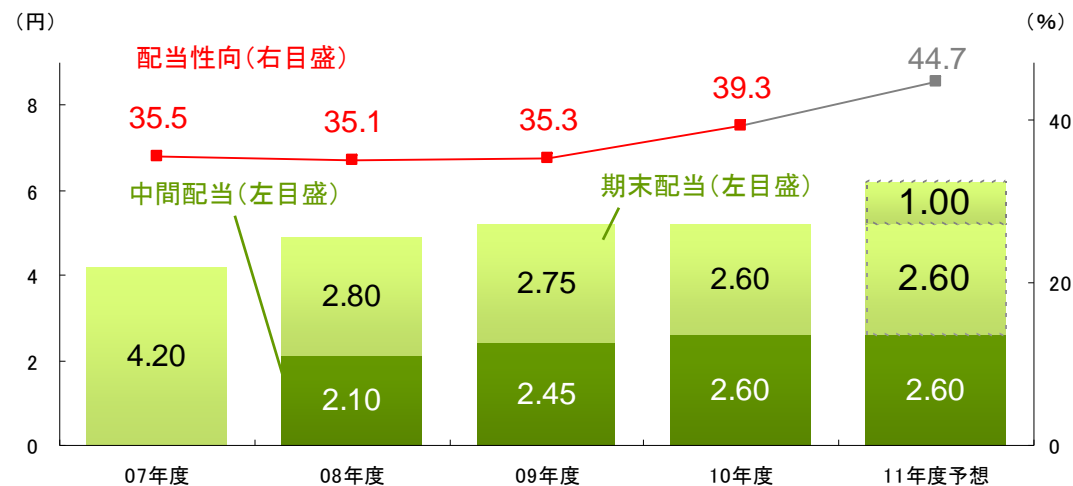
- ・7月のATMサービス開始以降、契約数、取引件数ともに順調に増加
- ・直近(2011年12月)件数の約9割がATMでの取引

株式分割・上場

2011年12月 株式の分割(1株→1,000株)、単元株制度の採用(単元株式数:100株)
東京証券取引所第一部へ上場

期末配当予想

東証一部上場記念配当を実施予定(1株当り1.00円)
これに伴い、期末配当予想を3.60円に修正(普通配当2.60円+記念配当1.00円)



注 08年度から、中間・期末の年2回配当実施

本資料には、株式会社セブン銀行の業績に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、具体的な歴史的事実を除き、本資料の作成時点において取得可能な情報に基づく予測等を基礎として記載されています。これらの記述のためには、一定の前提（仮定）を置いています。これらの記述及び前提（仮定）は主観的なものであり、かつ、様々なリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想等とは異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、システム障害、災害、犯罪、その他ATM事業及び金融サービス事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。なお、本資料に関する全ての著作権その他の権利は当社に属します。